

## 県立高校魅力化への取組について

R7.7.18  
高等学校課

## 1 背景

- 平成元年 3 月には約 9,600 人であった中学校卒業生数が、令和 7 年 3 月には約 4,800 人、10 年後の令和 17 年 3 月には約 4,000 人、更に今後の出生者数を考えると今後 3,000 人を割り込むことも想定されている。
- このような中においても、社会の変化、県民や地元産業界のニーズ、多様化する生徒の学習ニーズを踏まえ、教育効果を最大限発揮できる魅力ある県立高校の在り方を計画していく。

## 2 県立高校の在り方の検討

- 「令和新時代の県立高等学校教育の在り方に関する基本方針（令和 8 年度～令和 17 年度）」の策定  
(R 6.3.16)

生徒一人一人の夢や目標の実現に向けた可能性を広げられるよう「社会とつながり 体験する 選択できる 新しい学び」を創造する学校をめざすとして、基本方針を策定した。

- 基本方針に基づき、2 期に分けて再編を予定

|    | 期間          | 収容定員減    | 再編の方法                               | 対象学校名公表の時期                            |
|----|-------------|----------|-------------------------------------|---------------------------------------|
| 前期 | R8<br>～R12  | △240 人程度 | 原則学校数は維持したまま、学科の集約や学級減による整理・再編を進める。 | R9 実施分は R7.3.15 公表済。<br>R10.10 に追加公表。 |
| 後期 | R13<br>～R17 | △480 人程度 | 再編・統合を進める                           | R10.10                                |

- \* 3 学級規模の学校の在り方についての基準を設けているが、少子化対策や雇用創出などに取り組んでいる本県の状況を踏まえ、地域と連携した人材育成など小規模校ならではの特色ある取組を推進している学校については、その存続に最大限の努力を払うこととしている。
- \* 平成 12～平成 15 年度にかけて全日制 28 校⇒22 校（▲6 校）の大規模再編をおこなった。その後、新たに定時制通信制独立校を 2 校設置。以降 20 年以上、統合を行うことなく、学級減で対応してきた。このまま学級減で対応すると、学校の小規模化がますます進む。

## 3 魅力化の取組

## (1) 専門高校の魅力化

特に前期においては、将来の鳥取県を支える人材育成をさらに推進するため、専門学科の整理により専門性を高度化し、また、各高校の魅力化を推進する。

## &lt;専門高校における取組例&gt;

- ・境港総合技術高校…高等教育機関等と連携した水中ドローンを用いた水産資源量調査等をととして海洋分野の人材育成を推進
- ・倉吉農業高校…スマート農業の実践、和牛飼育の研究
- ・総合選択制のメリットを生かした学科を超えた学びの推進  
(総合選択制高校…鳥取湖陵高校、倉吉総合産業高校、境港総合技術高校)
- ・鳥取工業高校…鳥取生協病院と連携した医療補助器具の開発（医工連携の取組）、ドローンを活用した測量や映像分析、プログラミング等の学習

## (2) 中山間地域の高校の魅力化

特に中山間地域の高校においては、高校の存在自体が地域活性化の核となっているため、県立高校立地自治体と連携してそれぞれの地域に応じた魅力化の取組を推進する。

- <県立高校立地自治体（岩美、八頭、智頭、北栄、日野）×知事×県教育長による県立高校魅力化推進連携協定の締結  
(R 7.4.28) >

## ※協定内容（概要）

- ・魅力化コーディネーターの配置…県から町への人件費一部支援
- ・県外生徒受け入れのための住環境整備…県・自治体 1/2 ずつ負担

## &lt;中山間地域における高校の取組例&gt;

- ・智頭農林高校…活動拠点（BASE Connect（ベースコネクト））における地域と協働した活動
- ・青谷高校…青谷上寺地遺跡を活用した学び、海を活用した学び（サーフィンの授業、海ごみ調査、ムラサキウニの駆除作業）
- ・日野高校…地域づくりグループ「みらいず」による地域密着型活動、e スポーツを通じた高齢者との交流

### (3) 県外生徒募集

多様な価値観の中で切磋琢磨する環境を創出するため、県外生徒募集を推進している（H28 年度入試～）。県外生徒のための住環境整備は地元自治体と連携して推進している。

※県外生徒募集校 13 校/24 校（R8 年度入試）

#### < 県外生徒入学者数の推移 >

| 年度  | H28 | H29 | H30 | H31 | R2 | R3 | R4 | R5 | R6 | R7 |
|-----|-----|-----|-----|-----|----|----|----|----|----|----|
| 生徒数 | 25  | 41  | 36  | 44  | 46 | 52 | 54 | 58 | 74 | 64 |

#### < 地元自治体と連携した住環境整備 >

岩美町（岩美高校）、八頭町（八頭高校）、智頭町（智頭農林高校）、倉吉市（倉吉東高校、倉吉西高校、倉吉総合産業高校）、境港市（境高校、境港総合技術高校）（整備中：北栄町（鳥取中央育英高校））

### (4) 県民への情報発信

中学生や保護者に対し、大型商業施設における出張体験入学の実施など、県立高校の魅力を伝える取組を実施している。（R 6 年度～）

※R7.8.6 イオンモール日吉津、R7.8.7 イオンモール鳥取北

### (5) 統括コーディネーターの配置

各高校の魅力化の取組をネットワーク化し、統括的に推進（オンライン入試説明会、魅力発信動画制作等）するため、県独自で統括コーディネーターを 2 名配置している。（R 6 年度～）

## 4 その他

- 基本方針後期期間（R13～R17）においては、新たに普通科を加えた総合選択制高校を設置するなど、より生徒の選択肢を広げ、多様化する教育ニーズや社会情勢の変化に対応する学びの場となるよう検討する。